

平成22年度 職員提案表彰式



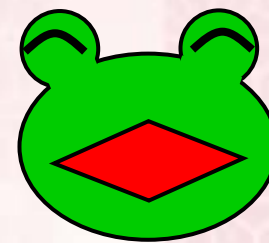
日時:平成22年12月24日(金)
場所:特別会議室

平成22年度 職員提案表彰式を開催しました!!

今年度は「改善」をテーマとし、
「ひらめいたら一歩前へ～みんなで発想・実践・共有～」
をスローガンに提案を募集し、
316件のご提案をいただきました。

その中から表彰対象提案が決定し、
12月24日(金)に表彰式が開催されました。

今回は、その様子をご紹介します。



市長からのメッセージ

今年度の職員提案は、昨年に引き続き「改善」をテーマに実施し、316件が提案されました。

今年度、新たに職員投票を実施し、その中から皆さんの提案が選出されました。つまり、皆さんの提案は、職員から選ばれた、プロが選んだプロの提案と言えます。

今年度、税収がマイナス114億円と、とても大変な状況であり、今後、更に効率的・効果的な市民サービスが重要になります。

職員の皆さんには、これまでも、相当な苦労があったと思います。苦労が実践に結びつくよう、今後も創意工夫し、知恵を絞ってがんばってください。



受賞者からのコメント

提案しようと思ったきっかけや、
提案のポイントについて、
受賞者の一人ひとりから
コメントをいただきました。



提案のきっかけやポイント

実績提案

証明書発行の手順・分担見直しで超勤時間を大幅削減

昨年度まで、毎週月曜日は必ず残業をしていました。今年度はグループ全員の目標として残業時間削減を掲げ、昨年度に比べ超勤を大幅削減しました。



介護保険事業者に対する情報提供のメール化

H21年度秋から試行的に開始し、今年度から本格実施しました。今後は他課と協力してスムーズな体制作りができるよう検討しています。

提案のきっかけやポイント

実績提案



姿川地区市民センターにおける申請予約システムの作成
このシステムは、Excelで作成しましたが、1回のパソコン入力で、使用料の計算と予定表を作成する手間が省け、市民は申請書の名前を書くだけになりました。素人が作ったのでうまく使えるか心配でしたが、現在は、更に使いやすくなるよう、グループで検討中です。

夜間休日救急診療所における「番号札発券機システム」の導入

平成21年度のインフルエンザの影響で、待ち時間が過去最大になり、導入を決めました。診察や薬局の待合状況が、診療所に行かなくても、携帯等でリアルタイムに確認ができるので、好評を得ています。



提案のきっかけやポイント

実績提案

窓口サインの明瞭化

毎年WVGで窓口サービスの向上を検討しています。
今回は「親切で丁寧な案内」を目標に「分かり易い誘導」
に着目し、窓口サインの明瞭化について検討しました。
色・形・絵文字など、視覚で訴えるものを作成しました。



申請待ち時間を有効に活用した姿川地区市民センター 内健康情報コーナーの設置

繁忙期に、受付の順番をめぐってトラブルが起きることがあり、何とかできないかと考え、待ち時間を利用して体力測定ができるコーナーを設置しました。昼間や夕方に市民の方が利用しています。

提案のきっかけやポイント

実績提案



グループ共有の分別ごみ箱の改良で、分別の徹底・回収効率UP！

他の提案を見ても、エコな取り組みをこつこつ続けているものが多いと感じました。そういった提案を代表して受賞したと考えています。今後も、小さな取組をこつこつ続けて行きたいと思います。

施設内ごみの分別徹底大作戦！！

4月の新分別方法になってから、施設のプラと焼却ゴミの分別ができていなかったため、「見える化」を図りました。お昼を伴う教員研修の際にも、分別の徹底をお願いする表示をしており、清掃業者からも分別ができていると言われました。見えるようにすることは大切です。



提案のきっかけやポイント

実績提案

建築保全課では、建物の長寿命化とランニングコスト削減を掲げています。平石地区市民センターから、どうか省エネをしたいという要望を受けてマニュアルを作成し、それをきちんとやってもらえた結果だと思います。今後、他の施設にも広げて行きたいと考えています。



平石地区市民センターにおける エネルギー使用量の削減 (共同受賞)



予算が年々削減されている中、大きな部分を光熱費が占めています。それを削減しないと予算が厳しいため、今回、建築保全課とタイアップしました。

まめに消灯したり、エアコンについても、寒暖計を置いて設定温度と表示が違ったら温度を変えたり、水道のバルブを絞って節水を行なうなどの取組をしました。

提案のきっかけやポイント

自由提案

時差出勤の推進（共同受賞）

○民間に勤めている友人が、フレックス勤務をしており、1時間違うだけでだいぶ渋滞が違うという話を聞きました。官公庁ではできないと思っていましたが、県庁が試験的に取り組んでいたのを見て、市役所でもできると思い提案しました。

○全庁的に残業削減運動を実施しており、現在、内部管理4課によるワーキンググループで残業削減の方策について検討しています。

窓口等で既に導入しているところがあるので、範囲を広げて実施できればいいと考えました。

○国に出向中、1時間早く出勤しており、1時間早く仕事を始めることで、朝は静かな中で仕事ができ、帰りも買い物やジムに通うことができ、有効に時間が活用できました。宇都宮市でもワークライフバランスを掲げているので、今回の受賞で、その一助となれればと思います。

提案のきっかけやポイント

自由提案

市民目線でホームページを見直して利用率アップ！

保健所でニーズ調査を行なった結果、行政の知らせたい内容と、市民の知りたい情報とは乖離があるということがわかりました。市民目線のHPを作ることにより、利用率アップにつながると考え提案しました。

残業時間リミットデーの創設

ノー残業デーとは別に残業時間のリミットを決めることを提案しました。

これまでも残業削減に取り組んでいますが、これ以上ノー残業デーを増やすと休日や平日の他の日にしわ寄せが来ることが想定されるため、リミットを決めることにより、その負担が減り、残業時間の削減にもなると考えました。

提案のきっかけやポイント

自由提案



職員提案は通年で受付しております。
今後も、皆様のご提案お待ちしております。

行政改革課 事務改善グループ

